

各 位

2026 年 8 月 31 日
株式会社リットーミュージック

TMNETWORK の音楽愛が聴けるラジオ番組『TMNETWORK スケルラジオ』
その電子書籍版の 5 冊目が登場



インプレスグループで音楽関連のメディア事業を手掛ける株式会社リットーミュージック（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：松本大輔）は、電子書籍『TMNETWORK スケルラジオブック Vol.5』を、2026 年 8 月 31 日に発売しました。

“スケルラジオ”は、“キク・ミル・ヨム”をテーマにした TMNETWORK によるメディアミックス・プロジェクトです。

“キク”版となる interfm のラジオ番組「TMNETWORK スケルラジオ」での 3 人のトークを電子書籍化したものが、“ヨム”版の『TMNETWORK スケルラジオ ブック』となります。

2026 年 4 月 1 日にスタートし、毎週水曜日の 22 時 30 分から放送されている同ラジオ番組では、1984 年のデビュー以来、先鋭的なサウンドで日本の音楽シーンを牽引し続けてきた彼らのルーツとなった「かけがえのない 1 枚のアルバム」「大きくインスパイアを受けた 1 曲」「胸を打たれた楽曲」などを、メンバーひとりひとりが想いを込めて語っています。

8月31日に発売された『TMNETWORK スケルラジオ ブック Vol.5』では、小室哲哉が“マイケル・ジャクソン Part 2”として題してアルバム『デンジャラス』を取り上げ、マイケル本人にネバーランドへ招待されて訪問したときの思い出を披露。

また木根尚登はザ・ビートルズの『レット・イット・ビー』をフィーチャーして、木根がピアノを始めるきっかけとなった楽曲が「レット・イット・ビー」であることや、ラジオ番組の企画でポール・マッカートニーへインタビューを行ったことなどをユーモラスに紹介。

宇都宮隆はスティックスの『コーナーストーン』『ミスター・ロボット』をピックアップ。ヨーロッパの大河を想起させるという叙情的な作風の「ボート・オン・ザ・リヴァー」やヒット曲「ベイブ」、さらには日本語も用いられたシアトリカルな楽曲「ミスター・ロボット」など、同バンドの魅力を多方面から掘り下げています。

さらにラジオでの放送内容のみならず、本電子書籍には刊行元であるリットーミュージックの雑誌記事から、番組内容に関連するアーティストの記事もピックアップして掲載。今回はサウンド＆レコーディング・マガジン1998年9月号より、マイケル・ジャクソンのプロデューサーとして知られるクインシー・ジョーンズのインタビューを転載しました。

なお、この電子書籍のシリーズは全9巻の刊行を予定しています。

そして、“ミル”版は、「TMNETWORK スケルラジオ」の収録風景を映像で楽しめるWOWOWでの放送およびWOWOW オンデマンドでの配信による番組「TMNETWORK スケルラジオ WOWOW ver.」です。ラジオでの3回分の内容を凝縮して収録した上で、独自コンテンツとしてラジオ収録後のアフタートークも堪能できるコンテンツとなっています。放送・配信は全9回を予定。

■書誌情報

書名：『TMNETWORK スケルラジオ ブック Vol.5』

希望小売価格：990円（本体900円＋税10%）

発売：2026年8月31日

発行：リットーミュージック

ISBN：9784845644674

商品情報ページ <https://www.rittor-music.co.jp/e/tm-sukeruradio-book/>

CONTENTS

第13回 マイケル・ジャクソン Part 2『デンジャラス』

選者：小室哲哉 2026年6月24日放送

第14回 ザ・ビートルズ『レット・イット・ビー』

選者：木根尚登 2026年7月1日放送

第15回 スティックス『コーナーストーン』『ミスター・ロボット』

選者：宇都宮隆 2026年7月8日放送

【TMNETWORK プロフィール】

小室哲哉(Key)、宇都宮隆(vo)、木根尚登(g)によるユニット。

1984 年「金曜日のライオン」でデビュー。1987 年にリリースした「Get Wild」で初のオリコンシングルランキングベスト 10 入りを果たす。圧倒的なパフォーマンス、シンセサイザーを多く導入した前例のない音楽性、歌詞表現、ミュージック・ビデオに人気が集まる。

2021 年 10 月に「再起動」を発表し、2022 年には 7 年ぶりとなるライブツアー"FANKS intelligence Days" Day1～9 を開催。2023 年には「DEVOTION」とシングル「Whatever Comes」をリリース。同年公開の『劇場版シティーハンター 天使の涙(エンジェルダスト)』のオープニングテーマや挿入歌として起用されるなど注目を集め、2024 年 Netflix 映画『シティーハンター』エンディングテーマ「Get Wild Continual」を発表。

40 周年イヤーとなった 2024 年にかけては、"FANKS intelligence Days"を冠に DEVOTION、STAND 3 FINAL、YONMARU と 3 本の全国ツアーDay10～40 を開催し、全 40 本・計 17 万人を動員した。同年 10 月には、自身最大のヒット曲となる「Get Wild」が累積再生数 1 億回を突破した。

2026 年 1 月より「QUANTUM」と題し全国 14 都市 20 公演を巡るツアーを開催し、全日程を大盛況のうちに完遂した。

TMNETWORK オフィシャル : fanksintelligence.com

●TMNETWORK

X アカウント : [@tmnetwork_2014](https://twitter.com/tmnetwork_2014) / Instagram アカウント : [tmnetwork_id](https://www.instagram.com/tmnetwork_id)

●小室哲哉

X アカウント : [@tetsuyakomurotk](https://twitter.com/tetsuyakomurotk)

TETSUYA KOMURO STUDIO : <https://fanicon.net/fancommunities/3914>

●宇都宮隆

X アカウント : [@TEAM_UTSU](https://twitter.com/TEAM_UTSU)

オフィシャルサイト URL : <https://www.magnetica.net>

●木根尚登

X アカウント : [@kinenaoto](https://twitter.com/kinenaoto)

オフィシャルサイト URL : <http://www.kinenaoto.com>

【関連情報 1】

“キク”版

番組タイトル: TMNETWORK スケルラジオ

放送局 : interfm (東京:89.7MHz 横浜:76.5 MHz) <http://www.interfm.co.jp/>

放送日時 : 毎週水曜日 22:30-23:00 (2026 年 4 月 1 日スタート)

DJs : TMNETWORK (小室哲哉、宇都宮隆、木根尚登)

番組サイト : <https://www.interfm.co.jp/sukeruradio>

メールアドレス : sukeruradio@interfm.jp

ハッシュタグ : #スケルラジオ

【関連情報 2】

"ミル"版

番組タイトル: TMNETWORK スケルラジオ WOWOW ver. (全 9 回)

編成: 2026 年 5 月より WOWOW で放送・WOWOW オンデマンドで配信開始

2026 年 9 月 27 日（日）午後 6：00 より特別版として

「TMNETWORK スケルラジオ WOWOW ver. QUANTUM キク・ミル・ヨム観測日」を
WOWOW で放送・WOWOW オンデマンドで配信予定。

※全回、放送・配信終了後～WOWOW オンデマンドにて 1 カ月間のアーカイブ配信あり

※以降の編成日時の詳細は追って発表

番組オフィシャルサイト：<https://www.wowow.co.jp/music/tmnetwork/>

※番組編成や内容は予告なく変更される場合がございます。あらかじめご了承ください。

【株式会社リットーミュージック】<https://www.rittor-music.co.jp/>

『ギター・マガジン』『サウンド＆レコーディング・マガジン』等の楽器演奏や音楽制作を行うプレイヤー＆クリエイター向け専門雑誌、楽器教則本等の出版に加え、電子出版、映像・音源の配信等、音楽関連のメディア&コンテンツ事業を展開しています。多目的スペース「御茶ノ水 RITTOR BASE」の運営のほか、国内最大級の楽器マーケットプレイス『デジマート』や T シャツのオンデマンド販売サイト『T-OD』等の Web サービスも人気です。

【インプレスグループ】<https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：塚本由紀）を持株会社とするメディアグループ。「IT・デザイン」「音楽」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社リットーミュージック 広報担当

E-mail: pr@rittor-music.co.jp